

第3次但馬定住自立圏 共生ビジョン

策定：2022年3月29日

変更：2022年8月22日

変更：2023年8月30日

変更：2024年9月10日

兵庫県豊岡市



目 次

1	定住自立圏及び市町の名称	
(1)	定住自立圏の名称	1
(2)	圏域を構成する市町の名称	1
2	定住自立圏の概要	
(1)	趣旨	2
(2)	定住自立圏形成の目的	2
(3)	中心市と近隣市町	2
(4)	中心市の都市機能の集積状況	3
(5)	財政措置	4
(6)	これまでの取組み経過	4
3	定住自立圏共生ビジョンの期間	5
4	定住自立圏の将来像	6
5	取組み内容の全体像	9
6	具体的な取組み内容	
(1)	生活機能の強化に係る政策分野	
ア	医療	10
イ	教育	16
ウ	産業振興	17
エ	環境	19
オ	防災	20
(2)	結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	
ア	地域公共交通	21
イ	圏域内外の住民との交流・移住促進	33
(3)	圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	
ア	人材の育成	34

1 定住自立圏及び市町の名称

(1) 定住自立圏の名称

但馬定住自立圏

(2) 圏域を構成する市町の名称

兵庫県豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町



2 定住自立圏の概要

(1) 趣旨

「定住自立圏構想」とは、人口減少及び少子化・高齢化が進行する中で、地方圏において、安心して暮らせる地域を各地に形成し、地方圏から三大都市圏への人口流出を食い止めるとともに、地方圏への人の流れをつくるために全国的に推進していく施策です。

(2) 定住自立圏形成の目的

定住自立圏は、中心市と近隣市町が、自らの意志で1対1の協定を締結することを積み重ねる結果として、形成される圏域です。

中心市において圏域全体の暮らしに必要な都市機能を集約的に整備するとともに、近隣市町において必要な生活機能を確保するなど、互いに連携・協力することで、圏域全体の活性化を図ることを目的としています。

(3) 中心市と近隣市町

中心市の要件は、人口5万人程度以上、昼間夜間人口比率が1以上の市で、但馬地域では豊岡市だけが該当します（近隣では鳥取市、福知山市が該当）。

近隣市町は、中心市と近接し、経済、社会、文化又は住民生活等において密接な関係を有する市町で、中心市に対する通勤通学割合等の要素も考慮して、関係市町で自主的に判断することができます。

これらのことから、2011年3月24日に、豊岡市が中心市宣言を行いました。

(4) 中心市の都市機能の集積状況

分 野	都市機能	施設名等
医療	公的病院	公立豊岡病院、公立豊岡病院出石医療センター
	休日診療所	市立休日急病診療所
	市内診療所	一般診療所 市立 4、公立豊岡病院組合立 1、民間 50、歯科診療所 市立 1、民間 30
福祉	老人福祉施設等	養護老人ホーム 2、特別養護老人ホーム 10、軽費老人ホーム 5、有料老人ホーム 3、介護老人保健施設 2、老人デイサービスセンター等 34、認知症高齢者グループホーム 14、(単独)老人短期入所施設 2、小規模多機能型居宅介護 5、看護小規模多機能型居宅介護 1、定期巡回・随時対応型訪問介護看護 1、老人福祉センター 1
	障害者支援施設等	北但広域療育センター、地域活動支援センター 9、グループホーム 19、通所・入所型障害福祉サービス事業者 38 ほか
教育・文化	大学院	兵庫県立大学大学院
	大学	芸術文化観光専門職大学
	短期大学	私立短期大学 1
	高等学校	県立高等学校 4、私立高等学校 1
	大学校等	県立但馬技術大学校
	専修学校	専修学校 2
	特別支援学校	特別支援学校 2
	図書館	市立図書館
	文化ホール等	市立豊岡市民会館
	芸術・文化・交流・教育施設	但馬文教府、市立城崎国際アートセンター、市立豊岡稲古堂、市立豊岡市民プラザ
	博物館、資料館、美術館	市立植村直己冒険館、市立歴史博物館「但馬国府・国分寺館」、市立美術館「伊藤清永記念館」、市立日本・モンゴル民族博物館、市立東井義雄記念館、歴史資料館 8
	スポーツ・レクリエーション施設(美術館)	県立円山川公苑
	体育施設	県立但馬ドーム、総合体育館、豊岡総合スポーツセンター、玄武洞スポーツ公園、城崎ボートセンター、B&G 海洋センター 2、植村直己記念スポーツ公園、出石総合スポーツセンター、但東スポーツ公園ほか
	都市公園	(植村直己記念スポーツ公園)ほか
環境	環境学習施設	県立コウノトリの郷公園、コウノトリ文化館、ハチゴロウの戸島湿地、加陽水辺公園
防災	防災施設	但馬広域防災拠点
交通	空港	県立但馬飛行場(コウノトリ但馬空港)
	主要鉄道駅	J R 豊岡駅、J R 城崎温泉駅、J R 竹野駅、J R 江原駅 京都丹後鉄道豊岡駅
	バス路線	全但バス(株)、市営バス イナカー、市街地循環バス コバス
	都市間バス	全但バス(株)特急バス 城崎⇄大阪、城崎⇄神戸、城崎⇄京都 WILLER EXPRESS(株)高速バス 城崎⇄東京
	国道	国道 178 号、国道 312 号、国道 426 号、国道 482 号
国・県の行政機関	国の機関	神戸地方裁判所豊岡支部、神戸家庭裁判所豊岡支部、豊岡簡易裁判所、豊岡検察審査会、国土交通省近畿地方整備局豊岡河川国道事務所、豊岡特別地域気象観測所、近畿農政局兵庫農政事務所豊岡統計・情報センター、神戸地方法務局豊岡支局、神戸地方検察庁豊岡支部、豊岡税務署、但馬労働基準監督署、環境省竹野自然保護官事務所、自衛隊兵庫地方協力本部豊岡出張所ほか
	県の機関	但馬県民局、但馬教育事務所、豊岡こども家庭センター、豊岡警察署、城崎警察センター

（５）財政措置

定住自立圏構想の取組みに対し、特別交付税、補助事業の優先採択、地域活性化事業債の充当などの財政措置が図られます。

（６）これまでの取組み経過

但馬地域では、1994 年に開催した「但馬・理想の都の祭典」以降、但馬広域行政事務組合を設立するなど、魅力ある多様な資源を活用して特色のある取組みを連携して進めてきました。しかし、人口減少や少子化・高齢化は止まることなく市町の財政を圧迫し、住民サービスの確保さえ困難な状況です。特に、周産期医療については、圏域病院の医師確保が危機的な状況にあり、早急に対策を講じなければなりません。

このような状況を踏まえ、住民サービスの維持・充実と圏域全体の活力の創造に向けた取組みを進めるため、各市町のネットワークをさらに深めることが不可欠であるとの認識で一致し、定住自立圏の構築を目指すこととしました。

2011 年 3 月 24 日	豊岡市が「中心市宣言」を公表
2012 年 6 月	「定住自立圏の形成に関する協定書」を各市町議会で議決 「豊岡市定住自立圏形成方針」を豊岡市議会で議決
2012 年 7 月 3 日	豊岡市と養父市、朝来市、香美町（2 市 1 町）において「定住自立圏形成協定」を締結
2012 年 9 月 20 日	「但馬定住自立圏共生ビジョン」を策定 ⇒形成協定に基づく具体的取組みの推進
2013 年 6 月	豊岡市と新温泉町との協定書を両市町議会で議決
2013 年 7 月 1 日	豊岡市と新温泉町において「定住自立圏形成協定」を締結 ⇒但馬 3 市 2 町で定住自立圏構想の推進
2017 年 3 月 24 日	「第 2 次但馬定住自立圏共生ビジョン」を策定
2019 年 10 月	「定住自立圏の形成に関する協定書」の一部を変更する協定書を各市町議会で議決
2021 年 10 月	「定住自立圏の形成に関する協定書」の一部を変更する協定書を各市町議会で議決

この定住自立圏構想の取組みにおいて、但馬全体の周産期におけるハイリスク患者等に対応するため、「但馬こうのとりの周産期医療センター」を整備し、2015 年 1 月に供用開始され、但馬地域で安心して出産ができる環境の確保が図られました。

また、2019 年 10 月には、圏域内に高等教育機関を誘致し、教育環境を充実させることにより、若者の転出抑制や UI ターン促進を図ることを目的に、「専門職大学の誘致」を取組み項目に加えました。これにより、2021 年 4 月に「芸術文化観光専門職大学」が開校しました。今後、地域と大学との連携を図ります。

なお、毎年度、各分野の関係者等で構成する「但馬定住自立圏共生ビジョン懇談会」を開催し、ビジョンの改訂版を策定・公表してきました。

3 定住自立圏共生ビジョンの期間

本ビジョンで示す具体的な取組みの計画期間は、2022 年度から 2026 年度までの 5 年間とします。ただし、毎年度所要の見直しを行います。

4 定住自立圏の将来像

(1) 圏域の状況

但馬は、兵庫県北部に位置し、北は日本海、西は鳥取県、南は播磨地域及び丹波地域、東は京都府に隣接し、県土の約4分の1を占める広大な地域です。

豊かな自然環境に恵まれ、山陰海岸国立公園、氷ノ山後山那岐山国定公園及び4つの県立自然公園があります。水量豊かな円山川をはじめ竹野川、矢田川、岸田川などが日本海にそそいでいます。

山陰海岸ジオパークは、京都府から鳥取県に及ぶ広大なエリアを有し、東西約120キロメートルにかけて、貴重な地形・地質遺産が数多く形成されており、2008年に「日本ジオパーク」として認定を受け、2010年には、「世界ジオパークネットワーク」への加盟が認定され、2014年、2019年には再認定を受けました。

古代の但馬は、「天日槍」の渡来伝説との関係が深く、日本の文化・経済の表玄関であったと言われています。奈良時代には、但馬地域も但馬国となり、その中心地が但馬国府として豊岡市日高町に置かれたほか、江戸時代には、出石・豊岡・村岡に藩が、生野銀山には代官所が置かれました。さらには、竹野、香住などが西まわり北前船の寄港地として栄えました。1871年に但馬・丹後・丹波の一部で構成する豊岡県が成立し、1876年には兵庫県に編入され、今日に至っています。

1994年に開催した「但馬・理想の都の祭典」では、圏域の住民だけでなく、但馬を訪れる人々とも、共に安らぎや感動、共に生きる喜びを分かち合える「交流と共生の理想の都」づくりを進めてきました。その後、但馬1市18町は合併を進め、豊岡市・養父市・朝来市・香美町・新温泉町の3市2町へと再編され、但馬が抱える共通の課題解決に向けて、市町間相互の役割分担と連携を強化しています。

ア 総人口の推移

	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
豊岡市	92,752人 -	89,208人 △3.8%	85,592人 △4.1%	82,250人 △3.9%	77,489人 △5.8%
養父市	30,110人 -	28,306人 △6.0%	26,501人 △6.4%	24,288人 △8.4%	22,129人 △8.9%
朝来市	36,069人 -	34,791人 △3.5%	32,814人 △5.7%	30,805人 △6.1%	28,989人 △5.9%
香美町	23,271人 -	21,439人 △7.9%	19,696人 △8.1%	18,070人 △8.3%	16,064人 △11.1%
新温泉町	18,601人 -	17,467人 △6.1%	16,004人 △8.4%	14,819人 △7.4%	13,318人 △10.1%
合計	200,803人 -	191,211人 △4.8%	180,607人 △5.5%	170,232人 △5.7%	157,989人 △7.2%

資料：国勢調査（下段は対前期増減率）

2020 年 10 月 1 日時点の但馬の総人口は 157,989 人で、2000 年の 200,803 人と比べ 21.3% (42,814 人) 減少しており、特に、2005 年以降の 5 年ごとの減少率は、但馬全体で 5%を超えており、今後も減少ペースがより一層、加速していくと考えられます。

イ 年齢 3 区分別人口構成比の推移

	2000 年	2005 年	2010 年	2015 年	2020 年
年少人口 (0～14 歳)	31,190 人 15.5%	27,395 人 14.3%	24,030 人 13.3%	21,035 人 12.4%	18,385 人 11.7%
生産年齢人口 (15 歳～64 歳)	118,314 人 58.9%	110,596 人 57.8%	101,815 人 56.4%	91,615 人 54.0%	81,011 人 51.6%
老年人口 (65 歳～)	51,299 人 25.5%	53,208 人 27.8%	54,674 人 30.3%	57,086 人 33.6%	57,617 人 36.7%

資料：国勢調査（年齢不詳人口を除く 下段は構成比）

但馬の年齢 3 区分別人口構成比は、2000 年以降、年少人口（0～14 歳）及び生産年齢人口（15～64 歳）が一貫して減少しているのに対し、老年人口（65 歳～）は増加を続け、2020 年 10 月 1 日時点で、年少人口 11.7%（18,385 人）、生産年齢人口 51.6%（81,011 人）、老年人口 36.7%（57,617 人）となっており、高齢化のペースが加速しています。

ウ 将来推計人口

	2010 年	2015 年	2020 年	2025 年	2040 年
豊岡市	85,592 人	82,250 人	77,489 人	75,024 人	62,783 人
養父市	26,501 人	24,288 人	22,129 人	20,356 人	15,004 人
朝来市	32,814 人	30,805 人	28,989 人	27,045 人	21,535 人
香美町	19,696 人	18,070 人	16,064 人	14,803 人	10,423 人
新温泉町	16,004 人	14,819 人	13,318 人	12,557 人	9,376 人
合計	180,607 人	170,232 人	157,989 人	149,785 人	119,121 人

資料：国勢調査（2010 年、2015 年、2020 年）

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（2018 年 3 月）」
（2025 年、2040 年）

2020 年国勢調査における但馬（3 市 2 町合計）の総人口は 157,989 人で、2015 年国勢調査と比較して 12,243 人減少しました。

また、国立社会保障・人口問題研究所（以下、社人研）の推計によると、2040 年には圏域の総人口は、119,121 人まで減少する見通しです。

(2) 圏域の将来像

本圏域での人口減少及び少子化・高齢化は止まることなく進んでおり、今後、さらに加速することが見込まれています。特に、生産年齢人口の減少が顕著となり、税収の減少や地域経済の縮小によって各市町の財政はますます厳しさを増し、行政サービスの維持などの課題が山積しています。

そのため、但馬地域の各市町においても国・地方を挙げた地方創生の取組みの中で、地域特性を活かした人口減少対策への取組みを進め、人口減少の影響を最小限に食い止めるよう圏域内での定住促進に努めています。

このような状況を踏まえ、豊岡市と但馬の各市町は、これまでからの「交流と共生」の理念を今後の但馬の活性化の基礎とし、圏域に訪れる人々とともに圏域住民が安らぎや共に生きる喜びを分かち合い、生き生きと暮らせる活力あふれる但馬づくりを目指します。

○ 自然とともに暮らせる圏域づくり

広大かつ多様な自然に抱かれながら、環境にやさしい地域づくりに取り組み、歴史や文化、風土を活かしながら、郷土に誇りを持ち、圏域住民が生き生きと暮らせる「潤いと安らぎに満ちた」圏域をつくります。

○ 安全・安心に暮らせる圏域づくり

圏域住民が健康で安心して生活を営み、将来も住み続けたいと感じられる圏域を目指し、安定的な医療体制の確保や通院・通学の移動手段などの生活基盤の整備・維持を進めます。

○ 賑わいと交流の圏域づくり

山陰海岸ジオパークをはじめ豊かな自然環境、地域資源を活かして圏域の魅力を高め、全国から人々が訪れる活力ある圏域づくりを進めます。

また、京阪神や環日本海地域を結ぶ高規格道路の早期実現に向けた取組み、鉄道や「東京直行便」に向けたコウノトリ但馬空港の利用促進を進め、交流の基盤整備を進めます。

○ 目標人口

上記のとおり、本圏域の将来像を設定するとともに、各市町人口ビジョンによる人口推計及び社人研推計を踏まえ、本ビジョンの最終年次である 2026 年の圏域将来人口を概ね 148,000 人とします。

	2025 年	2026 年	2040 年
目標人口		148,000 人	
各市町人口ビジョン推計 合計値	149,616 人		120,436 人
社人研推計(2018 年 3 月)	149,785 人		119,121 人

5 取組み内容の全体像

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

施策分野	連携施策	事業
ア 医療	(ア)医療体制の確保	医師確保対策就業支度金貸与事業 医師修学資金貸与事業
	(イ)周産期医療体制及びネットワークの整備	但馬こうのとり周産期医療センターの機能充実 周産期医療ネットワークの構築
	(ウ)救急医療体制の充実	ドクターカー運行事業 小児救急医療電話相談事業
イ 教育	(ア)芸術文化観光専門職大学との連携	芸術文化観光専門職大学との連携
ウ 産業振興	(ア)観光の振興	山陰海岸ジオパーク推進事業
	(イ)農作物被害防止対策等の推進	有害鳥獣対策事業
エ 環境	(ア)循環型社会の構築	北但ごみ処理施設(クリーンパーク北但)運営事業
オ 防災	(ア)防災力の向上	災害時相互応援体制の強化

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

施策分野	連携施策	事業
ア 地域公共交通	(ア)但馬空港の利用促進	但馬空港利用促進事業
	(イ)地域公共交通の利用促進	鉄道交通対策事業 広域的な移動手段であるバス路線の確保
イ 圏域内外の住民との交流・移住促進	(ア)独身男女の出会いの機会の提供	出会いの機会の提供の連携事業

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

施策分野	連携施策	事業
ア 人材の育成	(ア)圏域の職員育成	職員研修事業

6 具体的な取組み内容

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

ア 医療

(ア) 医療体制の確保

【形成協定の内容】

取組み内容	圏域の医療体制を維持するため、公的医療機関等の医師など、医療資源の確保に向けた取組みを行う。
甲の役割	I 乙や関係市町等と連携し、医師、看護師などの確保に向けた取組みを行うとともに、取組みの調整を図る。 II 乙や関係市町等と連携し、適正受診の啓発や、医療情報の提供のための取組みを行うとともに、取組みの調整を図る。 III 乙と連携し、医師確保のために必要な支援を行う。
乙の役割	I 甲や関係市町等と連携し、医師、看護師などの確保に向けた取組みを行う。 II 甲や関係市町等と連携し、適正受診の啓発や、医療情報の提供のための取組みを行う。 III 甲と連携し、医師確保のために必要な支援を行う。

※甲とは豊岡市を、乙とは近隣市町をいう。

【施策単位の目標】

指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
人口 10 万人あたりの 医師数	228 人（2023）	231 人（2027）

【具体的な取組み内容】

事業名	医師確保対策就業支度金貸与事業						関係市町名
事業概要	地域内の公立病院において、医師確保を図るため、新たに赴任する医師へ就業支度金を貸与する。						豊岡市・朝来市
成果	就業支度金を貸与することにより医師を確保し、医療の崩壊防止と市民の健康で安心な暮らしを守る。						
事業費 (千円)	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年	2026 年	計	
豊岡市	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	50,000	
朝来市	6,000	6,000	9,000	6,000	6,000	33,000	
国県補助事業等の名称、補助率等							
関係市町の役割分担に係る基本的な考え							
公立豊岡病院組合を構成する豊岡市及び朝来市が連携し、必要な資金を負担する。							

【具体的な取組み内容】

事業名	医師修学資金貸与事業					関係市町名
事業概要	公立豊岡病院組合の構成市である豊岡市と朝来市が資金を拠出し、地元出身の医学生に修学資金を貸与する。					豊岡市・朝来市
成果	公立豊岡病院組合の医師の養成と確保を図る。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）		目標値（達成年度）		
	貸与件数（学生）	13 件（2023）		16 件（2026）		
	貸与件数（医師）	25 件（2023）		16 件（2026）		
事業費 （千円）	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年	2026 年	計
	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	150,000
豊岡市	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500	112,500
朝来市	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	37,500
国県補助事業等の名称、補助率等						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え		公立豊岡病院組合を構成する豊岡市及び朝来市が連携し、資金に必要な費用を負担する。 （負担割合：豊岡市 3/4、朝来市 1/4）				

(イ) 周産期医療体制及びネットワークの整備

【形成協定の内容】

取組み内容	但馬こうのとり周産期医療センターの機能の充実を図る。 南但馬の分娩体制を維持するため、公立八鹿病院と公立豊岡病院との周産期医療ネットワークの構築に向けた検討を行う。
甲の役割	I 乙や関係市町等と連携し、圏域のハイリスク患者に対応する但馬こうのとり周産期医療センターの運営に必要な費用を負担するとともに、取組みの調整を図る。 II 乙や関係市町等と連携し、圏域の周産期医療ネットワークの構築に向けた検討を行うとともに、取組みの調整を図る。
乙の役割	I 甲や関係市町等と連携し、圏域のハイリスク患者に対応する但馬こうのとり周産期医療センターの運営に必要な費用を負担する。 II 甲や関係市町等と連携し、圏域の周産期医療ネットワークの構築に向けた検討を行う。

【施策単位の目標】

指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
周産期死亡率	2.5%（2022）	2.7%（2026）

【具体的な取組み内容】

事業名	但馬こうのとり周産期医療センターの機能充実					関係市町名
事業概要	2011 年度に取りまとめられた「但馬こうのとり周産期医療センター検討会議 報告書」に従い、但馬全体のハイリスク患者に対応するため、但馬こうのとり周産期医療センターを整備した。整備後は医師確保対策や魅力アップ事業等のソフト事業に積極的に取り組む。					豊岡市・養父市・ 朝来市・香美町
成果	センターの整備や研修等によるスキルアップにより、圏域内における安定的な産科及び周産期医療体制が確保され、安心して子どもを産み育てられる環境が整う。					
事業費 (千円)	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年	2026 年	計
	14, 159	14, 159	16, 216	14, 159	14, 159	72, 852
豊岡市	8, 524	8, 524	9, 762	8, 524	8, 524	43, 858
養父市	2, 312	2, 312	2, 648	2, 312	2, 312	11, 896
朝来市	2, 312	2, 312	2, 648	2, 312	2, 312	11, 896
香美町	1, 011	1, 011	1, 158	1, 011	1, 011	5, 202
国県補助事業等の名称、補助率等						
地域医療再生基金						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
関係市町が協議し、周産期医療センターを運営するために必要な費用の一部を負担する。						

【具体的な取組み内容】

事業名	周産期医療ネットワークの構築					関係市町名
事業概要	周産期医療体制を確立するため、分娩施設及び周産期医療体制の病院間ネットワーク構築に向けた取組みを行う。					豊岡市・養父市・ 朝来市・香美町
成果	圏域内における産科及び周産期医療体制の安定的な病院間ネットワークの構築が図られる。					
事業費 (千円)	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年	2026 年	計
	-	-	-	-	-	-
豊岡市	-	-	-	-	-	-
養父市	-	-	-	-	-	-
朝来市	-	-	-	-	-	-
香美町	-	-	-	-	-	-
国県補助事業等の名称、補助率等						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
関係市町等が連携し、病院間のネットワーク構築について取組みを行う。						

(ウ) 救急医療体制の充実

【形成協定の内容】

取組み内容	ドクターカーの安定的な運行により、圏域の救命率の向上及び後遺症の軽減を図る。 また、圏域に小児救急医療電話相談を共同で設置し、症状に応じた適切な対処方法、受診への助言等を行う。
甲の役割	I 乙や関係市町等と連携し、ドクターカーの安定的な運行に取り組むとともに、運行に必要な費用を負担する。 II 乙や関係市町等と連携し、小児救急医療電話相談を設置するとともに、運営に必要な費用を負担する。
乙の役割	I 甲や関係市町等と連携し、ドクターカーの安定的な運行に取り組むとともに、運行に必要な費用を負担する。 II 甲や関係市町等と連携し、小児救急医療電話相談を設置するとともに、運営に必要な費用を負担する。

【具体的な取組み内容】

事業名	ドクターカー運行事業					関係市町名
事業概要	ドクターカーを配備し、医師・看護師を同乗させ、救急医療を実施する。					全市町
成果	ドクターカーの安定的な運行により、圏域内救命率の向上及び後遺症の軽減が図られる。					
重要業績 評価指標 (K P I)	指標	現状値（調査時点）		目標値（達成年度）		
	ドクターカー 運行体制	24 時間運行（2023）		現状の運行体制の維持		
事業費 (千円)	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年	2026 年	計
豊岡市	19,231	23,130	27,974	19,231	19,231	108,797
養父市	7,397	8,896	9,816	7,397	7,397	40,903
朝来市	7,505	9,027	10,935	7,505	7,505	42,477
香美町	6,278	7,551	8,087	6,278	6,278	34,472
新温泉町	4,690	5,642	6,765	4,690	4,690	26,477
国県補助事業等の名称、補助率等						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
関係市町等は連携し、ドクターカーの安定的な運行に取り組むとともに、運行に必要な費用を按分して公立豊岡病院組合への負担金として支出する。						

【具体的な取組み内容】

事業名	小児救急医療電話相談事業					関係市町名
事業概要	但馬地域を対象とする小児患者の電話相談に対応するため、小児科医師によるバックアップ体制のもと、看護師が小児救急患者家族からの子どもの急病者疾病に関する電話相談を受け、受診の必要性や応急処置をアドバイスするとともに、症状に応じた適切な医療機関の紹介を行う。					全市町
成果	#8000が全国統一電話番号で兵庫県下全域を対象に実施されているが、電話がつながりにくいことがあるため、地域に電話相談窓口を開設することにより緩和を図るとともに地域に密着した医療情報を提供することができる。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）		目標値（達成年度）		
	相談対応時間	6時～24時（平日・土曜） 9時～24時（日曜・祝日） （2023）		現状維持		
事業費 （千円）	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	計
	946	922	901	946	946	4,661
豊岡市	489	475	467	489	489	2,409
養父市	127	126	123	127	127	630
朝来市	176	173	169	176	176	870
香美町	83	80	77	83	83	406
新温泉町	71	68	65	71	71	346
国県補助事業等の名称、補助率等						
小児救急医療電話相談窓口運営費補助金（補助率 2/3）						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
関係市町等は連携し、小児救急医療電話相談事業に取り組むとともに、運営に必要な費用を按分して拠出する。						

イ 教育

(ア) 芸術文化観光専門職大学との連携

【形成協定の内容】

取組み内容	芸術文化観光専門職大学が有する機能や多様な専門的人材の知識を最大限活用するとともに、学生の地域活動による新たな価値の創造と地域への定着を図る。
甲の役割	乙や芸術文化観光専門職大学、兵庫県、関係市町等と連携し、取組みの調整を図る。
乙の役割	甲や芸術文化観光専門職大学、関係市町等と連携し、取組みを進める。

【施策単位の成果指標】

指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
臨地実務実習受入先施設数	83 施設（2023）	102 施設（2026）
但馬内企業への就職者数	—	毎年 8 人（2024～）

【具体的な取組み内容】

事業名	芸術文化観光専門職大学との連携						関係市町名
事業概要	芸術文化観光専門職大学と但馬各市町、兵庫県が一体となって、地域課題解決のための各種施策を実施する。 また、臨地実務実習を積極的に受入れ、新たな価値の創造や地域への定着を図るとともに、学生が地域に溶け込み様々な取組みを実践し、活躍できるよう支援する。						全市町
成果	芸術文化観光専門職大学との連携により、但馬地域の若年層の転出抑制をはじめ、地域産業を担う高度な専門的職業人材の育成や地元企業に就職する若者を増やすなど地方創生の観点からも大きな効果が期待される。						
事業費 (千円)	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年	2026 年	計	
	21,038	22,194	21,765	22,004	22,004	109,005	
豊岡市	10,034	10,821	10,877	11,000	11,000	53,732	
養父市	2,726	2,660	2,660	2,726	2,726	13,498	
朝来市	2,494	2,929	2,912	2,494	2,494	13,323	
香美町	3,256	3,256	2,788	3,256	3,256	15,812	
新温泉町	2,528	2,528	2,528	2,528	2,528	12,640	
国県補助事業等の名称、補助率等							
地方創生推進交付金							
関係市町の役割分担に係る基本的な考え							
関係市町が連携し、地域課題解決のための取組みを積極的に行う。							

ウ 産業振興

(ア) 観光の振興

【形成協定の内容】

取組み内容	圏域の貴重な地球活動遺産である山陰海岸ジオパークを保護・保全するとともに、一層のPRに努め、特有の地域資源を活用した観光の振興を図る。
甲の役割	乙や関係市町等と連携し、ジオパーク活動に取り組み、観光の振興を図るとともに、必要な費用を負担する。
乙の役割	甲や関係市町等と連携し、ジオパーク活動に取り組み、観光の振興を図るとともに、必要な費用を負担する。

【施策単位の目標】

指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
観光入込客数	5,155 千人（2022）	6,415 千人（2026）

【具体的な取組み内容】

事業名	山陰海岸ジオパーク推進事業						関係市町名
事業概要	世界加盟認定を受けた山陰海岸ジオパークエリアの保護、保全、教育活動とジオパークを活用したツーリズムを積極的に推進し、持続可能な地域を目指す。						豊岡市・香美町・新温泉町
成果	従来の物見遊山的な名所を巡る観光から体験及び学習の要素を取り入れた新たな旅行形態に移行することにより、来訪者の満足度が上がり、再訪問が期待できる。また、ジオパークという歴史的価値の高い地域資源により地域振興につながる。						
事業費 (千円)	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年	2026 年	計	
	19,630	29,813	19,713	18,660	18,660	106,476	
豊岡市	4,906	5,395	5,124	3,936	3,936	23,297	
香美町	7,260	7,341	8,424	7,260	7,260	37,545	
新温泉町	7,464	17,077	6,165	7,464	7,464	45,634	
国県補助事業等の名称、補助率等							
関係市町の役割分担に係る基本的な考え							
豊岡市は、関係市町等と連携して事業の推進を図るとともに、関係市町等で構成される山陰海岸ジオパーク推進協議会事務局へ必要に応じ職員派遣を行う。							
関係市町は、豊岡市等と連携して事業の推進を図るとともに、派遣の規則を基に協議会事務局への職員派遣を行う。							
協議会の運営に必要な費用は関係市町等が按分して負担、それ以外に必要な費用は関係市町がそれぞれに負担し、地域におけるジオパーク活動を推進する。							

(イ) 農作物被害防止対策等の推進

【形成協定の内容】

取組み内容	野生動物による農作物の被害を防止するため、圏域における被害防止対策を推進する。
甲の役割	乙や関係市町等と連携し、野生動物防護柵の設置や地元猟友会による有害鳥獣捕獲のための支援等を行う。また、圏域外との被害防止対策の情報交換を行い、取組みの調整を図る。
乙の役割	甲や関係市町等と連携し、野生動物防護柵の設置や地元猟友会による有害鳥獣捕獲のための支援等を行う。また、圏域外との被害防止対策の情報交換を行う。

【具体的な取組み内容】

事業名		有害鳥獣対策事業				関係市町名	
事業概要		野生動物（シカ、イノシシ、サル等）による農作物の被害を防止するため、国・県補助事業を有効に活用し、野生動物防護柵の設置や地元猟友会による有害鳥獣捕獲のための支援等を行う。 また、広域化する被害を防止するため、関係する猟友会と情報交換や連携した対策を行う。				豊岡市・養父市	
成果		野生動物による農作物の被害防止と有害鳥獣個体の減少が確立され、農業者の耕作意欲の向上と遊休農地の解消に繋がる。					
重要業績 評価指標 （K P I）		指標	現状値（調査時点）		目標値（達成年度）		
		シカ捕獲頭数 （年）	8, 225 頭（2023）		9, 470 頭（2022）		
		シカ農業被害面積	21. 3ha（2023）		36. 04ha（2022）		
事業費 （千円）		2022 年	2023 年	2024 年	2025 年	2026 年	計
		192, 608	193, 647	216, 894	192, 608	192, 608	988, 365
豊岡市		132, 291	128, 915	158, 763	132, 291	132, 291	684, 551
養父市		60, 317	64, 732	58, 131	60, 317	60, 317	303, 814
国県補助事業等の名称、補助率等							
鳥獣被害防止総合対策事業（中山間地域所得向上支援事業含む） （国ソフト：50%または定額、ハード 50～55%または定額） 野生動物防護柵集落連携設置事業（県 8. 5～10%） シカ有害捕獲促進支援事業（県 5. 6%）、狩猟期シカ捕獲拡大事業（県 10%） シカ有害捕獲専任班支援事業（県 6. 3～7. 1%）							
関係市町の役割分担に係る基本的な考え							
関係市町は連携して、国・県補助事業を活用しながら防除及び捕獲対策事業の推進を図るとともに、事業に必要な費用は関係市町がそれぞれに負担する。							

エ 環境

(ア) 循環型社会の構築

【形成協定の内容】

取組み内容	圏域の廃棄物を適正に処理し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ること及び循環型社会の構築に寄与することを目的としてごみ処理施設を運営する。
甲の役割	乙や関係市町等と連携し、ごみ処理施設の運営に必要な費用を負担する。
乙の役割	甲や関係市町等と連携し、ごみ処理施設の運営に必要な費用を負担する。

【具体的な取組み内容】

事業名	北但ごみ処理施設(クリーンパーク北但)運営事業(負担金)					関係市町名
事業概要	圏域内の廃棄物を適正に処理し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図り、循環型社会の構築に寄与する北但ごみ処理施設(クリーンパーク北但)を適正に運営する。					豊岡市・香美町・新温泉町
成果						
圏域内の廃棄物を適正に処理し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることにより、循環型社会の構築に寄与する。						
重要業績 評価指標 (K P I)	指標	現状値(調査時点)			目標値(達成年度)	
	ごみ排出量 (年間)	37,946.69 t (2023)			36,793.67 t (2026)	
事業費 (千円)	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	計
	443,381	310,716	347,101	365,444	388,390	1,855,032
豊岡市	305,005	215,299	238,913	255,087	278,033	1,292,337
香美町	71,912	48,599	54,524	55,357	55,357	285,749
新温泉町	66,464	46,818	53,664	55,000	55,000	276,946
国県補助事業等の名称、補助率等						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
関係市町は連携して施設運営に関与し、その運営事業に必要な経費については、関係市町の搬入量に応じて按分し、北但行政事務組合の負担金として支出する。						

オ 防災

(ア) 防災力の向上

【形成協定の内容】

取組み内容	大規模災害発生時における相互応援協定に基づき、圏域の応援体制の強化を図る。
甲の役割	乙や関係市町等と連携し、災害時における必要な資機材や物資の斡旋・提供、職員の派遣や被災者の受入れ等、応援体制の強化を図る。
乙の役割	甲や関係市町等と連携し、災害時における必要な資機材や物資の斡旋・提供、職員の派遣や被災者の受入れ等、応援体制の強化を図る。

【具体的な取組み内容】

事業名	災害時相互応援体制の強化					関係市町名
事業概要	兵庫県及び市町相互間の災害時応援協定等に基づき、圏域内の応援体制を確立するとともに、関係市町がそれぞれに防災体制の強化や物資の備蓄等に努め、情報連携を積極的に行い、緊急時の迅速な相互応援や備蓄物資の融通等に努める。					全市町
成果	圏域内各市町間の相互応援体制の整備・強化により、災害時における迅速な応急対策及び救援の実施が図られる。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）		目標値（達成年度）		
	相互応援を目的とした訓練（研修）実施数	未実施（2023）		毎年度1回以上		
事業費 (千円)	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	計
豊岡市	2,310	2,310	2,310	2,310	2,310	11,550
養父市	6,500	5,000	5,000	2,000	2,000	20,500
朝来市	1,834	2,193	20,497	1,834	1,834	28,192
香美町	162	570	500	162	162	1,556
新温泉町	2,353	655	3,860	2,353	2,353	11,574
国県補助事業等の名称、補助率等						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
関係市町は連携して事業の推進を図るとともに、事業に必要な費用は関係市町がそれぞれに負担する。						

（２）結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

ア 地域公共交通

（ア）但馬空港の利用促進

【形成協定の内容】

取組み内容	コウノトリ但馬空港の一層の利用を促進するとともに、東京直行便の就航に向けての取組みを強化する。
甲の役割	乙や関係市町等と連携し、運賃助成や広報活動等によりコウノトリ但馬空港の利用促進を進めるとともに、東京直行便の就航に向けて関係機関に対して積極的な働きかけを行う。
乙の役割	甲や関係市町等と連携し、運賃助成や広報活動等によりコウノトリ但馬空港の利用促進を進めるとともに、東京直行便の就航に向けて関係機関に対して積極的な働きかけを行う。

【具体的な取組み内容】

事業名	但馬空港利用促進事業					関係市町名
事業概要	コウノトリ但馬空港の利用を促進するため、但馬空港発着の定期便を利用する圏域住民等を対象に航空運賃の一部を助成する。 広報宣伝活動などを実施し、より一層の但馬空港の利用促進を図るとともに、東京直行便の就航に向けての取組みを強化する。					全市町
成果						
但馬＝大阪間の既存路線の利用者が増加することにより、貴重な高速公共交通サービスが維持されるとともに、但馬＝東京（羽田）間の乗継利用者が増加することで、但馬と首都圏との潜在需要を示し、東京（羽田）直行便の就航実現に寄与する。						
重要業績 評価指標 （K P I）	指標	現状値（調査時点）			目標値（達成年度）	
	搭乗率	61.3%（2023）			70.0%（2026）	
	東京（羽田）直行便の就航					
事業費 （千円）	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年	2026 年	計
	104,576	101,489	122,013	104,576	104,576	537,230
豊岡市	81,785	79,197	99,423	81,785	81,785	423,975
養父市	6,106	6,106	6,106	6,106	6,106	30,530
朝来市	4,315	4,315	4,315	4,315	4,315	21,575
香美町	5,373	6,502	6,536	5,373	5,373	29,157
新温泉町	6,997	5,369	5,633	6,997	6,997	31,993
国県補助事業等の名称、補助率等						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
関係市町は連携して利用促進を図るとともに、但馬空港推進協議会の運営に必要な費用は関係市町が按分して負担、それ以外の必要な費用は関係市町がそれぞれに負担する。						

(イ) 地域公共交通の利用促進

【形成協定の内容】

取組み内容	圏域内外の広域的な移動手段を確保するため、鉄道やバスの利用を促進するとともに、路線の運行維持に連携して取り組む。
甲の役割	乙や関係市町等と連携し、鉄道やバスの利用を促進するとともに、情報提供や情報の共有化を図り、圏域における課題等について検討を行うとともに、取組みの調整を図る。
乙の役割	甲や関係市町等と連携し、鉄道やバスの利用を促進するとともに、情報提供や情報の共有化を図り、圏域における課題等について検討を行う。

【施策単位の成果指標】

目標	圏域内の公共交通ネットワークの維持
----	-------------------

【具体的な取組み内容】

事業名		鉄道交通対策事業					関係市町名	
事業概要							全市町	
地域公共交通であるＪＲと京都丹後鉄道の利用者増加と利便性向上のための事業に取り組む。								
成果		ＪＲ及び京都丹後鉄道の利便性・快適性が向上するとともに、鉄道利用者の増加により日常生活を支える交通機関として鉄道輸送サービスが維持され、圏域内利用者及び観光客の移動手段が確保される。						
重要業績評価指標（ＫＰＩ）		指標		現状値（調査時点）		目標値（達成年度）		
		特急停車駅の乗降者数（圏域合計）		9,505 人/日（2022）		現状維持（2026）		
事業費（千円）		2022 年	2023 年	2024 年	2025 年	2026 年	計	
		42,676	49,056	112,633	42,676	42,676	289,717	
豊岡市		41,000	42,053	107,897	41,000	41,000	272,950	
養父市		173	166	125	173	173	810	
朝来市		290	3,855	2,552	290	290	7,277	
香美町		1,120	2,894	2,000	1,120	1,120	8,254	
新温泉町		93	88	59	93	93	426	
国県補助事業等の名称、補助率等								
関係市町の役割分担に係る基本的な考え								
関係市町は連携して利用促進に取り組むとともに、輸送改善事業に必要な費用については関係市町等が按分して負担する。								

【具体的な取組み内容】

事業名	路線バス 八鹿～江原～豊岡～城崎～日和山線					関係市町名
事業概要	但馬農業高校から八鹿駅を經由して公立豊岡病院、城崎地域、日和山を結ぶ路線バス（養父市と豊岡市を結ぶ基幹路線）の運行に係る費用の一部を補助する。					豊岡市・養父市
成果	養父市や日高地域、城崎地域から公立豊岡病院への通院や買物、私立高校、県立高校への通学など、公共交通の利便性が確保される。					
事業費 (千円)	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	計
豊岡市	32,168	38,947	49,213	32,168	32,168	184,664
養父市	10,225	9,405	12,089	10,225	10,225	52,169
国県補助事業等の名称、補助率等						
国）地域公共交通確保維持改善事業費補助金（補助率 1/2） 県）市町振興支援交付金（補助率 1/2 以内）						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
豊岡市及び養父市は連携して事業の推進を図るとともに、事業に必要な費用は、それぞれの市が負担する。						

【具体的な取組み内容】

事業名	路線バス 出石～豊岡線					関係市町名
事業概要	出石地域から豊岡地域を結ぶ路線バスの運行に係る費用の一部を補助する。					豊岡市 (出石地域・豊岡地域)
成果	出石地域から公立豊岡病院への通院や買物、私立高校、県立高校への通学など、公共交通の利便性が確保される。					
事業費 (千円)	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	計
豊岡市	17,507	20,236	24,322	17,507	17,507	97,079
国県補助事業等の名称、補助率等						
国）地域公共交通確保維持改善事業費補助金（補助率 1/2） 県）市町振興支援交付金（補助率 1/2 以内）						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
豊岡市が事業を実施し、費用を負担する。						

【具体的な取組み内容】

事業名	路線バス 出石～奥藤線					関係市町名
事業概要	但東地域から出石地域を結ぶ路線バスの運行に係る費用の一部を補助する。					豊岡市 (出石地域・但東地域)
成果	但東地域と出石～豊岡線とを連結することによって、公立豊岡病院への通院や買物、私立高校、県立高校への通学など、公共交通の利便性が確保される。					
事業費 (千円)	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	計
	21,123	21,414	22,984	21,123	21,123	107,767
豊岡市	21,123	21,414	22,984	21,123	21,123	107,767
国県補助事業等の名称、補助率等						
国) 地域公共交通確保維持改善事業費補助金 (補助率 1/2) 県) 市町振興支援交付金 (補助率 1/2 以内)						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
豊岡市が事業を実施し、費用を負担する。						

【具体的な取組み内容】

事業名	路線バス 出石～江原線・江原～豊岡線					関係市町名
事業概要	出石地域と日高地域、日高地域と豊岡地域を結ぶ路線バスの運行に係る費用の一部を補助する。					豊岡市 (出石地域・日高地域・豊岡地域)
成果	出石地域から日高医療センターへの通院や買物、県立高校への通学、日高地域から出石地域の県立高校への通学や買物、日高地域から公立豊岡病院への通院や買物、私立高校、県立高校への通学など、公共交通の利便性が確保される。					
事業費 (千円)	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	計
	17,595	15,312	9,154	17,595	17,595	77,251
豊岡市	17,595	15,312	9,154	17,595	17,595	77,251
国県補助事業等の名称、補助率等						
国) 地域公共交通確保維持改善事業費補助金 (補助率 1/2) 県) 市町振興支援交付金 (補助率 1/2 以内)						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
豊岡市が事業を実施し、費用を負担する。						

【具体的な取組み内容】

事業名	路線バス 豊岡～目坂・奥野線					関係市町名
事業概要	目坂地域、奥野地域から公立豊岡病院を結ぶ路線バスの運行に係る費用の一部を補助する。					豊岡市 (豊岡地域)
成果	目坂地域や奥野地域から公立豊岡病院への通院や買物、私立高校、県立高校への通学など、公共交通の利便性が確保される。					
事業費 (千円)	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年	2026 年	計
	25,989	25,640	26,832	25,989	25,989	130,439
豊岡市	25,989	25,640	26,832	25,989	25,989	130,439
国県補助事業等の名称、補助率等						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
豊岡市が事業を実施し、費用を負担する。						

【具体的な取組み内容】

事業名	路線バス 近大・戸牧団地～豊岡駅～コウノトリの郷公園線					関係市町名
事業概要	法花寺・下宮地域、戸牧地域から豊岡駅や公立豊岡病院を結ぶ路線バスの運行に係る費用の一部を補助する。					豊岡市 (豊岡地域)
成果	法花寺・下宮地域や戸牧地域から豊岡駅、公立豊岡病院への通院や買物、私立高校、県立高校への通学など、公共交通の利便性が確保される。					
事業費 (千円)	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年	2026 年	計
	17,158	16,708	16,652	17,158	17,158	84,834
豊岡市	17,158	16,708	16,652	17,158	17,158	84,834
国県補助事業等の名称、補助率等						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
豊岡市が事業を実施し、費用を負担する。						

【具体的な取組み内容】

事業名	路線バス 豊岡～竹野線					関係市町名
事業概要	竹野地域から豊岡地域を結ぶ路線バスの運行に係る費用の一部を補助する。					豊岡市 (豊岡地域・竹野地域)
成果	竹野地域から豊岡駅、公立豊岡病院への通院や買物、私立高校、県立高校への通学など、公共交通の利便性が確保される。					
事業費 (千円)	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年	2026 年	計
	17,649	19,670	21,591	17,649	17,649	94,208
豊岡市	17,649	19,670	21,591	17,649	17,649	94,208
国県補助事業等の名称、補助率等						
国) 地域公共交通確保維持改善事業費補助金 (補助率 1/2) 県) 市町振興支援交付金 (補助率 1/2 以内)						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
豊岡市が事業を実施し、費用を負担する。						

【具体的な取組み内容】

事業名	路線バス 江原～神鍋線					関係市町名
事業概要	神鍋地域から江原駅を結ぶ路線バスの運行に係る費用の一部を補助する。					豊岡市 (日高地域)
成果	神鍋地域から江原駅、日高医療センターへの通院や買物、県立高校への通学など、公共交通の利便性が確保される。					
事業費 (千円)	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年	2026 年	計
	16,970	18,207	21,538	16,970	16,970	90,655
豊岡市	16,970	18,207	21,538	16,970	16,970	90,655
国県補助事業等の名称、補助率等						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
豊岡市が事業を実施し、費用を負担する。						

【具体的な取組み内容】

事業名	路線バス 八鹿～井坪・大屋・若杉・明延線					関係市町名
事業概要	養父市大屋町及び養父市建屋地域から八鹿駅を結ぶ路線バス（養父市大屋町及び養父市建屋地域と養父市八鹿町を結ぶ基幹路線）の運行に係る費用の一部を補助する。					養父市
成果	南但馬地域の基幹路線を確保し、八鹿駅からの鉄道・バス交通と連結することにより、公立豊岡病院への通院、買物など、圏域住民の利便性の向上が図られる。					
事業費 (千円)	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	計
養父市	35,580	32,727	34,316	35,580	35,580	173,783
国県補助事業等の名称、補助率等						
国) 地域公共交通確保維持改善事業費補助金（補助率 1/2） 県) 市町振興支援交付金（補助率 1/2 以内）						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
養父市が事業を実施し、費用を負担する。						

【具体的な取組み内容】

事業名	路線バス 八鹿～養父～和田山～新井・生野線					関係市町名
事業概要	朝来市生野町から八鹿駅を結ぶ路線バス（朝来市と養父市を結ぶ基幹路線）の運行に係る費用の一部を補助する。					養父市・朝来市
成果	南但馬地域の基幹路線を確保し、八鹿駅からの鉄道・バス交通と連結することにより、公立豊岡病院や私立高校・県立高校などへの公共交通の利便性の向上が図られる。					
事業費 (千円)	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	計
養父市	10,871	9,999	11,588	10,871	10,871	54,200
朝来市	21,616	25,504	26,730	21,616	21,616	117,082
国県補助事業等の名称、補助率等						
国) 地域公共交通確保維持改善事業費補助金（補助率 1/2） 県) 市町振興支援交付金（補助率 1/2 以内）						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
養父市及び朝来市は連携して事業の推進を図るとともに、事業に必要な費用は、それぞれの市が負担する。						

【具体的な取組み内容】

事業名	路線バス 竹ノ内・白井・和田山駅～朝来医療センター・与布土・金浦・柴線					関係市町名
事業概要	朝来市山東町から和田山駅を結ぶ路線バス（朝来市と養父市を結ぶ基幹路線）の運行に係る費用の一部を補助する。					朝来市
成果	朝来市山東地域の基幹路線を確保し、和田山駅からの鉄道・バス交通と連結することにより、公立豊岡病院などへの公共交通の利便性の向上が図られる。					
事業費 (千円)	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年	2026 年	計
	18,570	21,135	23,428	18,570	18,570	100,273
朝来市	18,570	21,135	23,428	18,570	18,570	100,273
国県補助事業等の名称、補助率等						
県）市町振興支援交付金（補助率 1/2 以内）						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
朝来市が事業を実施し、費用を負担する。						

【具体的な取組み内容】

事業名	路線バス 黒川線					関係市町名
事業概要	朝来市生野町黒川から生野駅を結ぶ路線バスの運行に係る費用の一部を補助する。					朝来市
成果	朝来市生野地域と市街地への生活路線であり、生野駅からの鉄道・バス交通と連結することにより、公立豊岡病院などへの公共交通の利便性の向上が図られる。					
事業費 (千円)	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年	2026 年	計
	3,088	1,568	1,664	3,088	3,088	12,496
朝来市	3,088	1,568	1,664	3,088	3,088	12,496
国県補助事業等の名称、補助率等						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
朝来市が事業を実施し、費用を負担する。						

【具体的な取組み内容】

事業名	路線バス 生野駅生野学園線					関係市町名
事業概要	朝来市生野町柝原から生野駅を結ぶ路線バスの運行に係る費用の一部を補助する。					朝来市
成果	朝来市生野地域と市街地への生活路線であり、生野駅からの鉄道・バス交通と連結することにより、公立豊岡病院などへの公共交通の利便性の向上が図られる。					
事業費 (千円)	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年	2026 年	計
	5,487	5,751	4,167	5,487	5,487	26,379
朝来市	5,487	5,751	4,167	5,487	5,487	26,379
国県補助事業等の名称、補助率等						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
朝来市が事業を実施し、費用を負担する。						

【具体的な取組み内容】

事業名	路線バス 生野駅喜楽苑線					関係市町名
事業概要	朝来市生野町奥銀谷地域から生野駅を結ぶ路線バスの運行に係る費用の一部を補助する。					朝来市
成果	朝来市生野地域と市街地への生活路線であり、生野駅からの鉄道・バス交通と連結することにより、公立豊岡病院などへの公共交通の利便性の向上が図られる。					
事業費 (千円)	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年	2026 年	計
	2,974	2,039	1,473	2,974	2,974	12,434
朝来市	2,974	2,039	1,473	2,974	2,974	12,434
国県補助事業等の名称、補助率等						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
朝来市が事業を実施し、費用を負担する。						

【具体的な取組み内容】

事業名	路線バス 新井～井坪・建屋線						関係市町名
事業概要	朝来市新井から八鹿駅を結ぶ路線バス（朝来市と養父市を結ぶ基幹路線）の運行に係る費用の一部を補助する。						養父市・朝来市
成果	南但馬地域の基幹路線を確保し、八鹿駅からの鉄道・バス交通と連結することにより、公立豊岡病院や私立県立高校などへの公共交通の利便性の向上を図る。						
事業費 (千円)	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	計	
	3,429	3,205	3,708	3,429	3,429	17,200	
養父市	2,184	2,009	2,376	2,184	2,184	10,937	
朝来市	1,245	1,196	1,332	1,245	1,245	6,263	
国県補助事業等の名称、補助率等							
県）市町振興支援交付金（補助率 1/2 以内）							
関係市町の役割分担に係る基本的な考え							
養父市及び朝来市は連携して事業の推進を図るとともに、事業に必要な費用は、それぞれの市が負担する。							

【具体的な取組み内容】

事業名	路線バス 八鹿～湯村温泉線						関係市町名
事業概要	八鹿駅から湯村温泉を結ぶ路線バス（養父市と新温泉町を結ぶ基幹路線）の運行に係る費用の一部を補助する。						養父市・香美町・新温泉町
成果	養父市や温泉地域から公立豊岡病院への通院や買物、私立高校、県立高校への通学など、公共交通の利便性が確保される。						
事業費 (千円)	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	計	
	24,314	24,212	25,396	24,314	24,314	122,550	
養父市	10,413	9,578	10,413	10,413	10,413	51,230	
香美町	10,123	10,652	10,624	10,123	10,123	51,645	
新温泉町	3,778	3,982	4,359	3,778	3,778	19,675	
国県補助事業等の名称、補助率等							
関係市町の役割分担に係る基本的な考え							
養父市、香美町及び新温泉町は連携して事業の推進を図るとともに、事業に必要な費用は、それぞれの市町が負担する。							

【具体的な取組み内容】

事業名	路線バス 八鹿～石原線					関係市町名
事業概要	養父市八鹿町石原から八鹿駅を結ぶ路線バスの運行に係る費用の一部を補助する。					養父市
成果	養父市小佐地域の基幹路線を確保し、八鹿駅からの鉄道・バス交通と連結することにより、公立豊岡病院などへの公共交通の利便性の向上が図られる。					
事業費 (千円)	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年	2026 年	計
養父市	7,074	6,507	6,905	7,074	7,074	34,634
養父市	7,074	6,507	6,905	7,074	7,074	34,634
国県補助事業等の名称、補助率等						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
養父市が事業を実施し、費用を負担する。						

【具体的な取組み内容】

事業名	路線バス 八鹿～村岡～秋岡線					関係市町名
事業概要	香美町小代から八鹿駅を結ぶ路線バス（香美町と養父市を結ぶ基幹路線）の運行に係る費用の一部を補助する。					養父市・香美町
成果	西但馬地域の基幹路線を確保し、八鹿駅からの鉄道・バス交通と連結することにより、公立豊岡病院などへの公共交通の利便性の向上を図る。					
事業費 (千円)	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年	2026 年	計
養父市	21,471	21,660	23,048	21,471	21,471	109,121
養父市	13,213	12,153	13,607	13,213	13,213	65,399
香美町	8,258	9,507	9,441	8,258	8,258	43,722
国県補助事業等の名称、補助率等						
国）地域公共交通確保維持改善事業費補助金（補助率 1/2）						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
養父市及び香美町は連携して事業の推進を図るとともに、事業に必要な費用は、それぞれの市町が負担する。						

【具体的な取組み内容】

事業名	路線バス 出石～八鹿線						関係市町名
事業概要	豊岡市出石町から八鹿駅を經由して公立八鹿病院や但馬農業高校を結ぶ路線バス（豊岡市と養父市を結ぶ基幹路線）の運行に係る費用の一部を補助する。						豊岡市・養父市
成果	豊岡市出石・但東地域と養父市を結ぶ基幹路線を確保し、出石医療センターや公立八鹿病院への通院や買物、県立但馬農業高校への通学など、公共交通の利便性の向上を図る。						
事業費 (千円)	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	計	
	9,875	9,814	10,743	9,875	9,875	50,182	
豊岡市	3,626	4,066	4,595	3,626	3,626	19,539	
養父市	6,249	5,748	6,148	6,249	6,249	30,643	
国県補助事業等の名称、補助率等							
国）地域公共交通確保維持改善事業費補助金（補助率 1/2） 県）市町振興支援交付金（補助率 1/2 以内）							
関係市町の役割分担に係る基本的な考え							
豊岡市及び養父市は連携して事業の推進を図るとともに、事業に必要な費用は、それぞれの市が負担する。							

【具体的な取組み内容】

事業名	路線バス 八鹿駅～関宮・鉢伏線						関係市町名
事業概要	養父市八鹿駅から鉢伏を結ぶ路線バスの運行に係る費用の一部を補助する。						養父市
成果	養父市旧八鹿町・旧関宮町地域の基幹路線を確保し、八鹿駅からの鉄道・バス交通と連結することにより、公立豊岡病院などへの公共交通の利便性の向上が図られる。						
事業費 (千円)	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	計	
	16,368	15,055	15,044	16,368	16,368	79,203	
養父市	16,368	15,055	15,044	16,368	16,368	79,203	
国県補助事業等の名称、補助率等							
国）地域公共交通確保維持改善事業費補助金（補助率 1/2） 県）市町振興支援交付金（補助率 1/2 以内）							
関係市町の役割分担に係る基本的な考え							
養父市が事業を実施し、費用を負担する。							

イ 圏域内外の住民との交流・移住促進

(ア) 独身男女の出会いの機会の提供

【形成協定の内容】

取組み内容	圏域内外の独身男女の出会いの機会等を提供する事業に取り組む。
甲の役割	乙や関係市町等と連携し、効果的な事業の企画・運営を行うとともに、取組みの調整を図る。
乙の役割	甲や関係市町等と連携し、効果的な事業の企画・運営を行う。

【具体的な取組み内容】

事業名	出会いの機会の提供の連携事業				関係市町名	
事業概要					全市町	
圏域に居住し結婚を望む男女に、圏域内外の異性との出会いの機会などを提供する。						
成果						
婚姻数の増加により、定住人口を増やすことができる。						
重要業績 評価指標 (K P I)	指標	現状値（調査時点）		目標値（達成年度）		
	出会いの機会への参加者数	716 人（2023）		545 人（2026）		
事業費 (千円)	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年	2026 年	計
	9,801	15,373	11,763	10,036	10,036	57,009
豊岡市	3,265	6,964	4,634	3,500	3,500	21,863
養父市	1,260	1,200	1,200	1,260	1,260	6,180
朝来市	3,300	3,300	1,395	3,300	3,300	14,595
香美町	1,833	2,666	2,666	1,833	1,833	10,831
新温泉町	143	1,243	1,868	143	143	3,540
国県補助事業等の名称、補助率等						
関係市町の役割分担に係る基本的な考え						
関係市町は連携して事業の企画・運営を図るとともに、事業の広報、事業に必要な費用は、それぞれの市町が負担する。						

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

ア 人材の育成

(ア) 圏域の職員育成

【形成協定の内容】

取組み内容	新たな行政ニーズへの対応や法制執務能力の向上を目的として、圏域の職員を対象に研修を実施する。
甲の役割	乙や関係市町等と連携し、新任職員研修や各種特別研修に取り組むとともに、必要な費用を負担する。
乙の役割	甲や関係市町等と連携し、新任職員研修や各種特別研修に取り組むとともに、必要な費用を負担する。

【具体的な取組み内容】

事業名		職員研修事業				関係市町名	
事業概要		圏域内の職員を対象に、新たな行政ニーズや高度化・多様化に対応するための研修に必要な経費を負担するとともに、研修に対し積極的に職員を派遣する。				全市町	
成果							
個々の行政能力が向上し、圏域内の総合力が高められる。							
重要業績 評価指標 (K P I)		指標	現状値（調査時点）		目標値（達成年度）		
		参加者数	351 人（2023）		410 人（2026）		
事業費 (千円)		2022 年	2023 年	2024 年	2025 年	2026 年	計
		－	－	－	－	－	－
豊岡市		－	－	－	－	－	－
養父市		－	－	－	－	－	－
朝来市		－	－	－	－	－	－
香美町		－	－	－	－	－	－
新温泉町		－	－	－	－	－	－
国県補助事業等の名称、補助率等							
関係市町の役割分担に係る基本的な考え				関係市町は事業費を按分して但馬広域行政事務組合の負担金として支出する。			

